

クラスワイド(学級単位)のポジティブ行動支援 実践研究報告

小学校中学年の学級全員に、(体育館への移動前に)目標タイムを目指して教室内に整列することを教える。

学級の実態

- 学級で移動する時など，並ぼうとはするが私語が多い。
- 教員の促しがなければ時間がかかる。
- 児童同士で声をかけ合ったり，協力したりすることは現段階では少ない。

教員の考え

「児童同士で声をかけあって、良いところを認め合える関係づくりができるようになってほしい。」



アドバイザーからの助言

- ・児童同士でポジティブにもネガティブにも声をかけ合うことが少ないです。お互いをポジティブに認め合えるようにしていきましょう。



指導目標の見直し

体育館への移動前に教室内で整列することができる。

記録方法と記録

指導前の記録(ベースライン)を5月26日～6月30日に記録した。

- ・教室後方入り口に男子1列, 女子1列に並ぶ
- ・担任が「並びましょう」と声をかけてからストップウォッチで測定開始

(児童には知らせない)

指導1: 目標タイム内に並ぶ

【対象児童】

通常学級4年生 17名

【指導場面】

体育館への移動前(教室後方)

【記録方法】

ストップウォッチで時間測定

【教材】

ストップウォッチ 掲示用グラフ

学活の時間にベースラインのタイムを見ながら話し合い、
目標タイム「94秒」に決定

【実践(介入)1期】9月29日～10月11日

- 担任が「並びましょう」と合図を出す
- 学活の時間に担任が説明する(ベースラインのタイム)
- A児(特別支援学級在籍)は友だちや教員からのサポートあり
- 児童同士で声をかけあう

【実践(介入)2期:グラフで視覚化+Tの称賛】

10月13日～11月1日

- 担任が「並びましょう」と合図を出す
- A児は友だちや教員からのサポートあり
- 児童同士で声をかけあう
- グラフの見方。タイムが縮まることがよいことを伝える

記録用紙

加茂小 4年1組 「整列」 取り組み記録表 <介入1期>

月/日	教科	整列		教室移動	測定時間	備考・特記事項また記録分析上の留意
		開始	終了(出発)	到着		
例 9/22	体	整列の開始時刻を記入(必須) 9:41	余裕があれば記入してください 9:43	余裕があれば記入してください 9:45	整列開始から到着までSWで時間計測 4分 23秒	〇〇の準備が整わず、みんなを待たせる移動の途中で数名しゃべる子がいた。 必要に応じて何でも書いてください
/		:	:	:	分 秒	
/		:	:	:	分 秒	
/		:	:	:	分 秒	
/		:	:	:	分 秒	
/		:	:	:	分 秒	
/		:	:	:	分 秒	
/		:	:	:	分 秒	

タイムとその場面での児童の様子を書く

加茂小 4年1組 整列 取り組み記録表 介入1期

月/日	教科	開始	終了(出発)	到着	測定時間	備考・特記事項
例 9/22	体	9:41	9:43	9:45	4分 23秒	整列開始から到着までSWで時間計測
9/29	本					
	朝会	8:02				
	練習					
	練習					
	練習					
	朝会					
	集会					

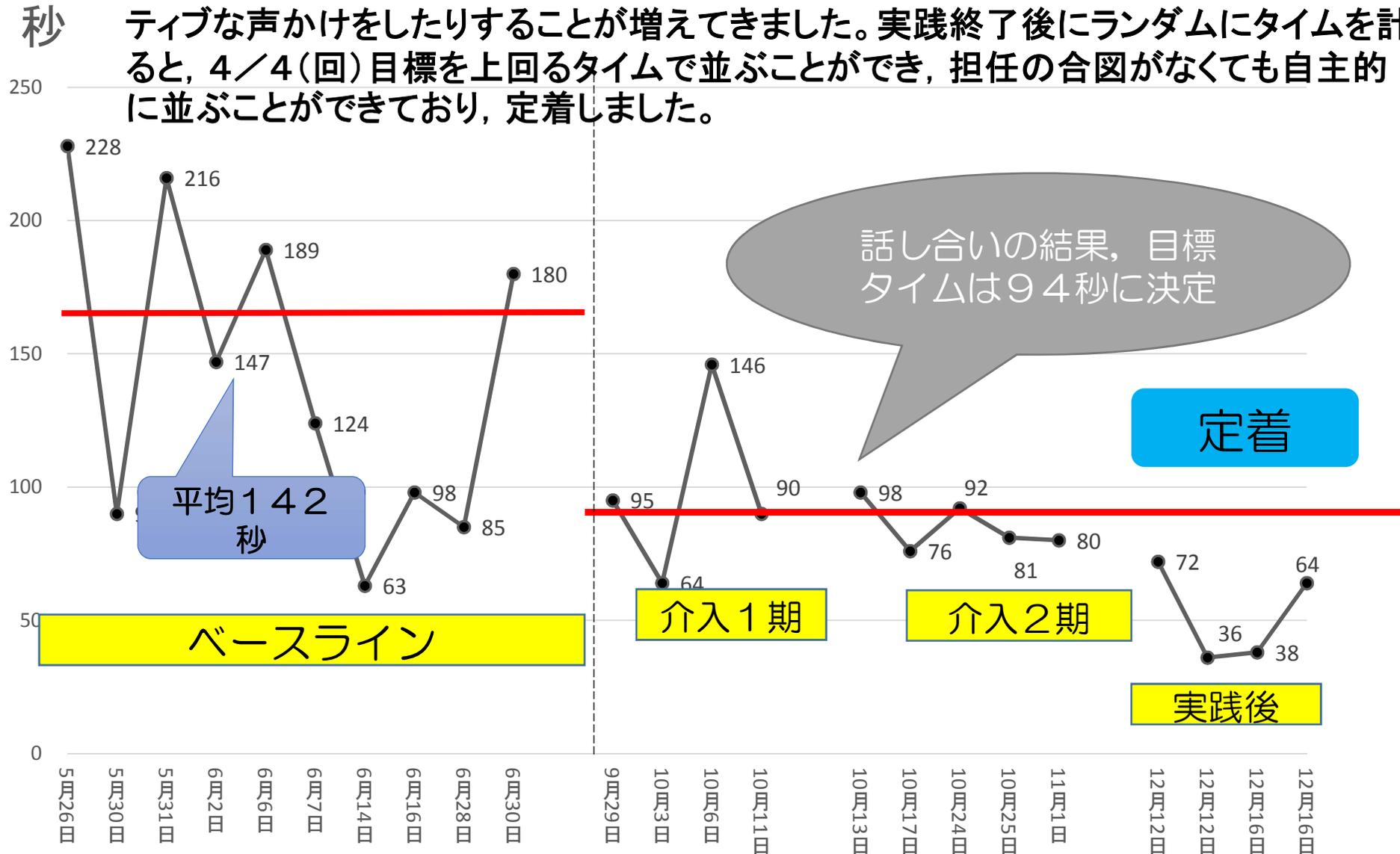
1期

2期

観察記録

指導1の成果(整列にかかった時間(秒))

並ぶ際の児童同士の声かけが増え、A児に対しては、一緒に準備物の用意を手伝ったり、並んだときに周りの私語がある場合には、自主的に「静かにしよう」というポジティブな声かけをしたりすることが増えてきました。実践終了後にランダムにタイムを計ると、4/4(回)目標を上回るタイムで並ぶことができ、担任の合図がなくても自主的に並ぶことができている、定着しました。



ここが成功のポイント



○自分たちで話し合って決めた目標のため、意識が高まり、達成感を味わうことができた。

○児童同士で目標決定や共有化をしたことで、互いにサポートし合う、教え合うことがしやすい環境となり効果的であった。